

鳥海まちづくり協議会

提言書

令和3年7月

鳥海まちづくり協議会委員

(任期：令和元年8月1日～令和3年7月31日)

- 会長 土田 房 義 (元鳥海町議会議員)
- 副会長 真坂 善 人 (直根地区町内会推薦)
- 委員 村上 孝 一 (川内地区町内会推薦)
- 真坂 知恵美 (川内地区町内会推薦)
- 真坂 好 喜 (直根地区町内会推薦)
- 村上 菊 朗 (笹子地区町内会推薦)
- 村上 喜一郎 (笹子地区町内会推薦)
- 真坂 重 和 (野菜マーケット友の会会員)
- 小松 こず江 (鳥海連合婦人会会長)
- 佐藤 安 隆 (由利本荘市観光協会鳥海支部支部長)
- 斉藤 邦 子 (由利本荘市商工会女性部鳥海支部役員)
- 佐藤 耕 一 (鳥海地区連合PTA会長)
- 高橋 久 孝 (鳥海地区民生児童委員協議会委員)
- 佐藤 崇 (本海獅子舞番楽伝承者協議会)
- 富澤 博 光 (鳥海町物産協会協会長)
- 鈴木 トシ子 (笹子婦人部役員)
- 村上 吉 和 (消防団鳥海分団分団長)

はじめに

鳥海まちづくり協議会委員一同は、由利本荘市まちづくり協議会条例による「市民と行政の協働によるまちづくりを推進し、地域の課題解決及び活性化を図る」という設置目的のもと、令和元年8月1日付けで委嘱され、鳥海地域の政策的課題や要望について、「元気な町づくり部会」、「未来をつくる部会」を開催し、それぞれ分野別のテーマを設定し協議・検討を重ねてきました。

この度、各専門部会にて協議された内容を提言書として取りまとめましたので、関係部局で検討いただき、市政運営にご反映いただきますようお願い申し上げます。

【部会構成委員】

・元気な町づくり部会

(部会長) 眞坂重和 (副部会長) 村上孝一

(委員) 眞坂善人、村上蒞朗、村上喜一郎、斉藤邦子

佐藤耕一、高橋久孝

・未来をつくる部会

(部会長) 佐藤 崇

(委員) 眞坂知恵美、眞坂好喜、小松こず江、佐藤安隆

冨澤博光、土田房義、鈴木トシ子、村上吉和

活動報告

(任期：令和元年8月1日～令和3年7月31日)

開催日	市要請による 開催	自主開催	協議内容
R1. 9. 6	協議会①		会長・副会長選任、鳥海地域主要事業の説明、協議会活動の進め方について
R2. 8.25	協議会②		2年度鳥海総合支所事業概要、部会の構成・名称について
R2. 8.25		元気なまちづくり部会①	副部長について 部会で取り組むべきテーマについて
R2. 8.25		未来をつくる部会①	部会で取り組むべきテーマについて
R2.10.14		元気なまちづくり部会②	鳥海地域学校運営協議会【熟議】へ参加
R2.11.25		未来をつくる部会②	提言書の内容について
R3. 3.16		元気なまちづくり部会③	提言書の内容について
R3. 6.24		未来をつくる部会③	提言書の内容について
R3. 6.28		元気なまちづくり部会④	提言書の内容について
R3. 7.15	協議会③		市長講話、3年度主要事業について、提言書について

提 言 書

未来をつくる部会では、鳥海地域が住みやすく安心して暮らせる地域として持続していくためにはどうすればいいかを話し合い、本地域が特別豪雪地帯に指定されていることもあり①「除雪について」と、高齢化の著しい地域であり今後運転免許返納者が増え病院や買い物などで交通手段の確保を期待すべく②「コミュニティバスの運行」についての2つのテーマに絞って協議しました。

テーマ①「除雪について」

<意見・要望>

- ・ 自宅の除雪について総合相談窓口が欲しい。
- ・ 除雪の組織作りを検討してはどうか。
- ・ 統一した単価で除雪できる仕組みがあればよい。(しかし、屋根の形状や植木の有無など様々なケースがあり設定は難しい)
- ・ 自宅の周辺について、自分で除雪ができる家もあるし、高齢化等で除雪ができない家がある。自分でできない高齢者や体の不自由な人へ手を差し伸べてもらえないか。
- ・ 各家々の除雪費用を市で補助できないだろうか。
- ・ 除雪機の燃料費や除雪機械の修理代、機械の購入費に対する全世帯への補助があればいい。
- ・ 鳥海地域は公道から自宅までの距離が離れている家もあり、道路から玄関までの距離により補助割合を決定してはどうか。
- ・ ボランティアの立ち上げを市がサポートしてくれないか。
- ・ (補助を受ける) サービス券のようなものを配布してはどうか。
- ・ 現在、高齢者のみで屋根の雪下ろしを行っている世帯もある。

<まとめ>

市において降雪量に地域格差があり、沿岸部の住民には本地域の現状が分からないだろうから、除雪の負担が多い地域から除雪に対する要望を出していかなければいけない。

条件等は細かく刻まずに、高齢者世帯や独居老人等に対し除雪に関する補助をお願いしたい。全世帯は無理であろうから対象者は線引きが必要であり、後期高齢者医療制度に加入する世帯に限定して補助できる仕組み作りをお願いしたい。

テーマ②「コミュニティバスの運行について」

<意見・要望>

- ・公共交通だけを利用して目的地へ行くのに何回も乗り降りしてたいへんである。
- ・中直根線で自宅に向かうために利用している人はいるか。廃止またはデマンドにするべきではないか。
- ・コミバスをドライブ的に利用してもらうのもよいのでは。
- ・デマンドを利用したいが言うに言えずりようできなかった人もいる。
- ・高齢化が進む中、今後は免許返納者が増え、いつそのこと無料にしてはどうか。
- ・平等性から無料はできないだろうからワンコイン化（100円）してはどうか。
- ・交通的にはだいぶ整備されていると思う。
- ・高校生への支援という面から経費緩和を。鳥海の場合一部を除いて交通手段がコミュニティバスしかない。現在、保護者が駅等へ送迎しているが、高校生の利用があれば定期的な利用が期待できる。
- ・コミュニティバスを矢島まで延伸してもらえば、乗り降りを要しない。
- ・ダム観光として法体の滝まで伸ばせないか。

<まとめ>

免許返納・高齢化が進む中、タクシーやバスなど公共交通の不便な地域であり、また、由利高原鉄道等へアクセスなどの地理的要因も踏まえ、利用料金をワンコイン化してほしい。

また、利用者増加となるPRを行い、地元の観光にも一役かって欲しい。

提 言 書

元気な町づくり部会では、地域と子どもたちとの触れ合いの機会を増やしていくことを話し合い、「小中学校（生）との関わり」をテーマとし協議しました。

テーマ「小中学校（生）との関わり」

<意見・要望>

- ・子どもとふれあう機会が減った。町内行事や登下校中など子どもに声がかげづらい（不審者と間違われるときがある）。
- ・学校行事に市民が参加し、生徒に地域の人々を覚えてもらうことも必要。
- ・集落の中でも子どもたちとふれあえる企画ができればよい。
- ・町内会へ学校に足を運んでいただくような施策が必要。
- ・学校の空き教室があるので、地域の人々のコミュニティに活用することも有効ではないか。
- ・学校を地域の大人も学べる場所にしたい。放課後に学校で大人と児童・生徒と一緒に将棋や囲碁、俳句をするなど。
- ・小中運動会に市民も参加できるようにしたい（現在小中合同開催で進めているが、地域の方も参加できるように行政にバスを出していただきたい）。
- ・今の子どもたちはあいさつなど素晴らしく、感動した。一般市民はなかなか足を運べないが、PRを充実させるなどして学校行事を見てもらえるようにしたい。

<まとめ>

子どもたちが地域行事へ参加するよう学校側から促していただきたい。また、地域の方々を学校行事に参加いただくために、ホームページなども活用しチラシも工夫して、よりPRしていただくとともに、参加する手段としての足の確保を行政へお願いしたい。